入院療養計画書

診断名：インフルエンザウイルス感染症　Ver.1

ID:

氏名：　　様

病棟（病室）：　　（　　）

年　　月　　日

推定される入院期間：約7日間

【治療計画】

日付	月　　日	月　　日　～　　月　　日	
経過	1日目	2日目～	
達成目標	・気道浄化に努め、呼吸苦なく過ごすことが出来る ・体調の変化を報告することができる		・退院後の注意事項について理解できる
安静度 移動	病室内フリー 体力が低下しないよう症状に応じて体を動かしましょう。		
退院		必要に応じ、退院に向けて当院相談員が相談いたします。	退院の目安を参照してください。
リハビリテーション計画	リハビリテーションの介入が必要な人は、リハビリテーション実施計画書を作成します。リハビリを行い体力維持・回復に努めます。		
栄養管理計画	・栄養状態の確認を行い、必要に応じて栄養管理計画を立案します。 むせがないかを確認しながら、必要時に食事介助・食事の種類の変更をしていきます。	病状に応じた食事を提供します（必要に応じ絶食）。また、必要に応じ嚥下評価、嚥下訓練を行います。	食事が開始できない方は、今後の栄養方法(点滴やその他の方法)について、情報を提供いたします。
薬剤管理計画	・インフルエンザに対する内服薬、点滴、抗生剤の投与を行います。 ・入院前から飲んでいるお薬があれば、看護師に知らせて下さい。（薬剤師が確認します） ・去痰剤　抗生剤などの内服を行います。（必要時）	  薬剤（点滴または内服薬）治療を行いながら経過を見ます。	退院後使用される痛み止め・その他薬剤について薬剤師より説明があります。
検査内容 及び日程	採血、レントゲン CT、心電図 抗原検査　など 適宜 レントゲン 血液検査　　を行います	・飲み込む力を評価致します ・飲み込む力が不安定である場合、さらに詳しく検査を行います。（耳鼻科受診など）	必要に応じて、血液検査、レントゲン、CTを適宜行います。
手術処置 内容及び日程	・酸素の取り込みが不足している場合、酸素療法を行います。 ・痰が多い場合はや切れにくい場合は、吸入を行うことがあります。 ・腹臥位を保っていただくことがあります。		呼吸状態が安定していれば酸素吸入を減量・中止します。
清潔	体調に応じて清拭を行います。歯磨きなどを行い、お口の中をきれいに保ちましょう。	呼吸状態が安定したら、シャワー浴や入浴を開始いたします。 お口の中をきれいに保ちましょう。 	
排泄	症状に合わせて排泄介助をします。（トイレ・オムツ介助・尿カテーテルなど） 		
患者さまおよび ご家族への説明	・**入院の申し込み**をしていただきます。 ・担当ケアマネージャーがいる場合はお知らせ下さい。 ・自宅から入院された方で自宅以外への退院を考えている場合はお知らせ下さい。 ・主治医から病状や経過について説明があります。 ・オセルタミビルについて説明があります。 ・薬剤師よりお薬について説明があります。 ・看護師からクリニカルパスや入院生活を説明します。 ・処置がある場合、医師より説明を受けた後、**同意書**を提出して下さい。	・必要に応じ、退院支援の担当者（ソーシャルワーカー）から連絡をさせていただきます。 ・胸痛　・頭痛 ・呼吸困難　・皮膚の発疹 **上記の症状がありましたら、看護師にお知らせください。**	退院について説明があります。 入院証明書や診断書が必要な方は、 入院中は病棟クラークに、退院後は 外来クラークに提出してください。 次回受診日は、別紙を参照してください。 外来受付時間：8時00分～11時30分 

インフルエンザウイルスは重症から軽症まで様々であり、見込みの入院期間も数日から数週間と幅があります。
【退院の目安】
・レントゲン、血液検査で病状の改善が認められる
・発熱や呼吸苦の改善がみられる
・退院後の生活の準備ができている



病名

症状

特別な栄養管理の必要性

有　・　無

その他の計画

在宅復帰支援計画　＊

在宅復帰支援担当者名

総合的な機能評価◇

主治医以外の担当者名	看護師：　　薬剤師：　　理学療法士：　　管理栄養士：

看護計画		**主治医**	

注1）病名及び治療内容等は、現時点で考えられるものであり、検査・治療を進めていくにしたがって変わり得るものである。
注2）入院期間、表記の日時については現時点の予定である。
注3）＊印は、地域包括ケア病棟入院料（入院医療管理料）を算定する患者にあっては必ず記入すること。
注4）◇印は、総合的な機能評価を行った患者について、評価結果を記載すること。
注5）特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等、様式の変更が直ちにできない場合、その他欄に

板橋中央総合病院
2026年1月5日作成